

【取組内容①】 中学校3年美術の授業実践

中学3年

美術

【題材名】てん刻



まとめ・表現

【目標】 てん刻の印面を端末で描き、作品について振り返る

【活用したツール】 ペイント3D

自分がつくったてん刻の印面について発表する授業において、端末を効果的に活用していました。

活動①

端末のペイント3Dを使い、てん刻の印面を描いていました。

ペン、タッチパッド、自分の指など、子供たちは自分に合った方法で印面を描くことができます。



活動②

印面をつくる時に気をつけたことを個人でワークシートに書いた後、グループで共有していました。

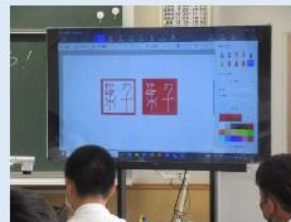
活動①でペイント3Dを活用したことで、自分の作品を振り返ることができていました。



活動③

子供の端末をモニターに接続し、子供たちが自分の作品などについて発表していました。

実際に作品などを見えるようにすることで、発表の時間がより充実したものになっていました。



支え合う子供たち

下の写真のように、夢野中学校の子供たちは、困ったときにお互いに支え合っていました。今回の授業だけでなく、他の授業でもそうでした。

このように、端末の活用場面においても、子供たちが支え合うことが大事になります。



【他の活用方法として…】

端末を活用することで、完成した作品だけでなく、途中段階の作品を共有することもできます。

(例：学習支援ソフトやTeamsの協働編集)

作成途中で仲間の作品を参照することで、自分の作品をより良くすることにつながります。